

1	表題(課題)名	ワンマン測量機(快測ナビ)を使った丁張レス施工	
2	工事(業務)名	R2・3・4大通西電線共同溝工事	
3	受注者名	本間道路 株式会社	
4	工期	令和2年2月18日～令和5年2月28日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人	(さかうえ よしたか) 坂上 由隆
6	担当主任監督(調査)員	黒埼維持出張所長	
7	課題区分名	⑤施工管理	(もう戻れないスマート施工)
8	工事(業務)概要	国道8号大通西地区の歩道内に電線共同溝を築造する。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・施工管理技術者の人員不足により、丁張設置の時間がもったいないと感じていました。丁張レス施工ができないか模索していました。 		
10	【実施内容】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自由勾配側溝の布設作業で、設計3Dデータを取り込んだ快測ナビを活用して丁張レス施工を実施しました。 ・1日の流れは、As版撤去～掘削～基礎クラ～基礎版～側溝布設～埋戻し～仮舗装という流れで、日当たり施工量は目標4m(側溝2本)です。 ・車道路肩規制の作業で、事前に丁張を出しておくこともできない環境です。 ・快測ナビには、設置する位置、高さの情報が入力されており、床堀の段階から活用することができました。 		
11	【実施結果】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・上記で説明したとおり、本当に丁張レス施工ができ、目標としていた日当たり施工量も4mから6mに向上し、慣れてきたのか最後の方は、下請職長が使いこなし、技術者いらずで施工継続中です。 		

(様式—2)

【実施内容等】

『元請職員による確認』



床付け時



基礎版設置時

『下請職長による確認』



側溝布設時



側溝布設時